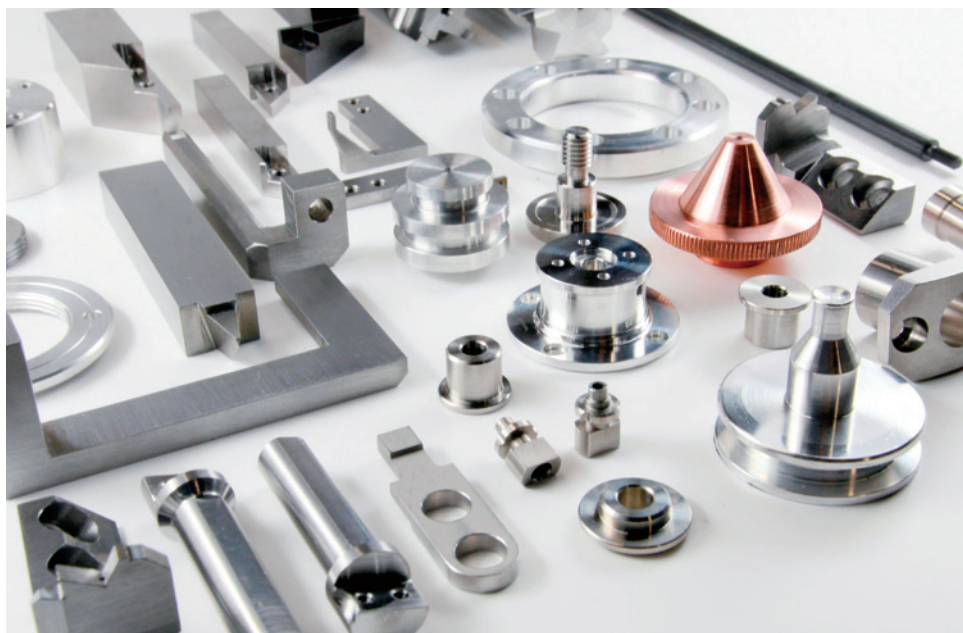


株式会社ヒューテック

先端技術と手作業を融合
精密加工を短納期で提供

納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



多種多様な製品群

業務内容
多種多彩な設備を使いこなし
細かい部品を製作

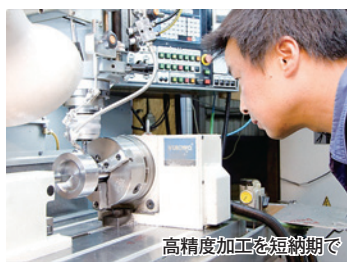
ダイヤモンド工具の治工具を手掛けて40年の歴史を持つヒューテックは、ダイヤモンド回転治工具や高速スピンドル、フランジと多岐にわたる単品物を中心に製作している。

「細かい部品を多種多彩に加工するのが得意で、いわば10種競技のような会社」と藤原社長が話す通り、汎用旋盤はもちろん、汎用フライスやNC、MC、研磨、ワイヤー放電等、10種類以上の設備を持ち、全従業員が最低3種類の機械を使いこなすという。3D CAD/CAMを駆使した超精密金属部品加工等も行っている。

強み
得意は小回りの利く
ジャストサイズの加工

強みは扱う素材と加工技術の幅の広さだ。各種金属、ステンレス、アルミ、銅、真鍮、チタン、樹脂等、素材を選ばず、チャック爪やホルダー、加工治具の内製等、どんな形にも対応できる。

例えば、半導体向けのチタン製フランジでは、軸とテーパ部の2面拘束加工等、高度な技術を持つ。しかもあたり面の精度は90%以上、繰り返し装着時のフレ精度は2μm以下を実現。「試作、単品、細かい



高精度加工を短納期で

作業」を短期間で、しかも精密に仕上げる対応力と小回りの良さで、顧客のニーズに応えている。

教育システム
社内の教育システムで
高度な多能工を育てる

「自動化に伴い安価な大量生産となり大手が海外に移行したため、日本の技術力が地盤沈下する」と懸念した藤原社長は、社内の教育システムを考案。平成21年度大阪府の経営革新計画の認証を受けた。

これは従来のFAXでの受注、図面化、プログラムの手打ち、加工治具検討、といった作業をデザイナーがパソコンと3D CAD/CAMでプログラミングするシステム。熟練工がパソコン画面を見ながら加工法を指示し、デザイナーが表現。時間短縮とコストダウンを図る。子育て中の女性でも自宅でききる作業分担で、働く機会の提供にもなり、現場では手作業と先端IT技術を融合させた半自動化が実現する。

一方で素人だった社員を数年かけて鍛え上げ、国家技能検定1級を取得させた。今後は全社員を有資格者にし、技術の底上げを目指している。

今後の展望
医療分野に進出して
よりヒューマンな仕事を

「作業から技術者に高め、さらに技能者にしていきたい」と語る藤原社長。今後はより高い技術を求められる医療分野に進出したいと考えている。

その根底には、「人に携わるもの」との願いがある。「手」テクノロジーを目指すヒューマンな会社として社会に貢献したいとの熱い想いを持つ。

COMPANY PROFILE

株式会社ヒューテック

大阪24

当社の歴史

昭和40年に藤原鉄工所として旋盤加工業をスタート。その後、複数の設備を所有し、ダイヤモンド工具メーカーを始め、多くのお客様から単品・試作加工の注文をいただいています。平成20年に私が引き継ぎ、翌年「ヒューマン&テクノロジー」の意味を持つ「ヒューテック」に社名変更しました。これから手づくりの匠の技を活かしたものづくりを続けます。

“人の手でものを創るヒューマン&「手」テクノロジー”にこだわっています。

代表取締役 藤原 多喜夫さん



■主な事業内容

ダイヤモンド治工具・測定治具・その他精密金属部品の製造等

■主な取引先(納入先)

切削工具メーカー、電子部品メーカー、超音波検査機器メーカー等

住所／〒538-0043
大阪市鶴見区今津南
2-7-13
TEL／06-6961-9252
FAX／06-6968-7255
創業／昭和40年5月
設立／平成2年1月
資本金／500万円
従業員／8名

<http://www.fu-tech.jp/>